

科目名

電子計算機演習 Computer Exercise

2年 前期 1単位 選択

宮原浩二

概要

コンピュータ、プログラム開発環境の使用方法をC言語によるプログラムを作成することにより学習する。

目標

- ① コンピュータの使用方法を学習する。
- ② プログラム開発環境の使用方法を学習する。
- ③ C言語の使用方法を理解する。

授業計画

テーマ	内容
① 電子計算機演習の授業計画	本授業の概要と目標について説明する。
② C言語開発環境	本授業で使用するプログラム開発環境、ソフトウェアについて説明する。
③ Cプログラムの基礎	Cプログラムの構成要素、プログラムの作成、コンパイルについて説明する。
④ 算術演算子	変数の扱い方、値の代入の仕方、数値の入力方法、算術演算子の扱い方について説明する。
⑤ 関数の扱い方	複数の関数で構成されるプログラム、戻り値、関数の引数について説明する。
⑥ 条件文	if 文、else 文、複文の使用方法について説明する。
⑦ for ループ	for ループの構成、使用方法、インクリメント演算子、デクリメント演算子について説明する。
⑧ 関係演算子と論理演算子	C言語で使用されるエスケープ文字と関係演算子、論理演算子の使用方法を説明する。
⑨ 数値以外の文字の入力	文字の入力関数 <code>getche ()</code> 、 <code>getchar ()</code> の使用方法について説明する。
⑩ if、for 文の応用	if 文のネスト、様々な for 文の使用方法について説明する。
⑪ while、do ループ	while ループ、do ループの使用方法について説明する。
⑫ ループのネスト	ループのネスト、ループの脱出、break 文、continue 文について説明する。
⑬ switch 文、goto 文	switch 文、goto 文の使用法について説明する。
⑭ 標準ライブラリ関数	数学関数、時間、日付の関数などについて説明する。
⑮ 定期試験	

授業方法

講義：主にプリントとパワーポイントを用いた授業

学習到達度の評価

- ① 授業終了後、小テストを行い、授業の理解度を確認する。
- ② 授業終了後、アンケートを行い、学生からの授業評価および要望を今後の授業の参考とする。

評価方法

期末などの試験の成績、小テストの成績、出席率による。

教材

パソコン (Windows) を使用する。

プリントを配布する。

参考書：「独習C」ハーバート・シルト／著 トップスタジオ／訳 柏原正三／監修、翔泳社